

科目名	(D) コミュニケーション論研究 (2019年度以降入学者) 英語文化研究 (2018年度以前入学者)	担当者	佐々木 輝美
開講期	通年	単位数	4単位
【概要】		【授業計画】	
<p>今年度は、コミュニケーションにおけるメディアの利用について学ぶ予定。</p> <p>具体的には以下のテーマについて学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションにおけるメディアの意味 2. 伝統的メディアの特徴 3. ニューメディアの特徴 4. メディアと人々の学びについて 5. メディア効果/影響の測定方法について <p>上記のテーマの学びの順序等については、受講生の状況に応じて調整します。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明、次回のインタビュー項目 2. 受講生の関心領域についてのインタビュー 3. メディアの意味 1 4. メディアの意味 2 5. メディアの意味 3 6. 中間報告 1 7. 伝統的メディアの特徴 1 8. 伝統的メディアの特徴 2 9. 伝統的メディアの特徴 3 10. 中間報告 2 11. ニューメディアの特徴 1 12. ニューメディアの特徴 2 13. ニューメディアの特徴 3 14. 中間報告 3 15. メディアと人々の学び 1 16. メディアと人々の学び 2 17. メディアと人々の学び 3 18. 中間報告 4 19. メディアと人々の学び 4 20. メディアと人々の学び 5 21. メディアと人々の学び 6 22. 中間報告 5 23. メディア効果/影響の測定方法 1 24. メディア効果/影響の測定方法 2 25. メディア効果/影響の測定方法 3 26. 中間報告 6 27. メディア効果/影響の測定方法 4 28. 最終報告 	
【到達目標】		【事前・事後学修の内容】	
コミュニケーション論に関する文献を読み、より高度な議論ができるようにする。		事前に授業に関連する資料に目を通し、中間報告に備えて授業内容に関する事後学修を行う。	
【テキスト・参考文献】		【評価方法】	
<p>テキスト：プリント配布予定</p> <p>参考文献：・<i>Communication Research Measures: A sourcebook</i>, Routledge.</p> <p>・ <i>Communication Research Measures II: A Sourcebook</i>, Routledge.</p> <p>・ 心理測定尺度集 I～VI、サイエンス社</p>		授業活動への参加 20%、中間報告 30%、最終報告 50%による総合評価を行なう。	